

J-WAVE GOLDEN WEEK SPECIAL TOKYO DIVERSITY

5.4 TUE. 9:00~17:55

J-WAVE & Roppongi Hills present TOKYO M.A.P.Sと連動したスペシャルプログラムをJ-WAVEでオンエア!

J-WAVE 81.3FMでは、TOKYO M.A.P.S 2日目
の5月4日(火)に特別番組「TOKYO DIVERSITY」
をオンエア。DJ TAROとSaschaが、音楽、カル
チャー、環境など様々な角度から東京と世界の
「DIVERSITY=多様性」に迫ります。そして、この
番組では東京の多様性を音楽で表現するTOKYO
M.A.P.Sのライブの模様を、生中継も交えながら
たっぷりお届けします。オーガナイザーの菊地
成孔はスタジオからもゲスト出演!「TOKYO
M.A.P.S」の世界をラジオでもお楽しみください。



DJ TAROやSaschaもつぶやき!
Twitter:@TOKYOMAPS
最新情報はコチラ!
<http://www.tokyomaps.jp>

J-WAVE 81.3FM

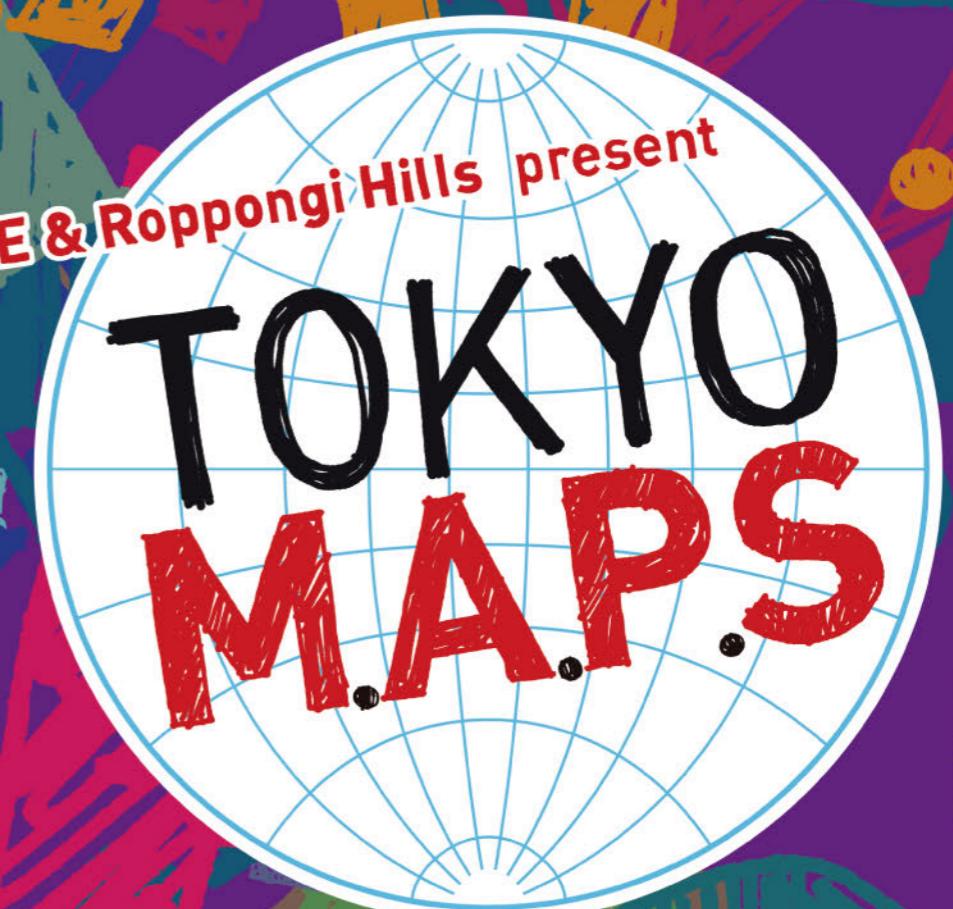
& Roppongi Hills

開催期間: 2010年5月3日(月)、4日(火)
主 催: 森ビル株式会社 J-WAVE 81.3FM
会 場: 六本木ヒルズアリーナ
入 場 料: 無料

※荒天時はプログラム変更および中止になる場合がございます。

access/information

- 地下鉄
 - 東京メトロ日比谷線「六本木駅」よりアリーナまで徒歩約5分
 - 都営大江戸線「六本木駅」よりアリーナまで徒歩約10分
 - 都営大江戸線「麻布十番駅」よりアリーナまで徒歩約5分
- 車
 - 首都高速飯倉ランプ、霞ヶ関ランプから10分 駐車場/2,762台完備
- お問い合わせ: 六本木ヒルズ総合インフォメーション
TEL: 03-6406-6000



NARUYOSHI KIKUCHI EDITION

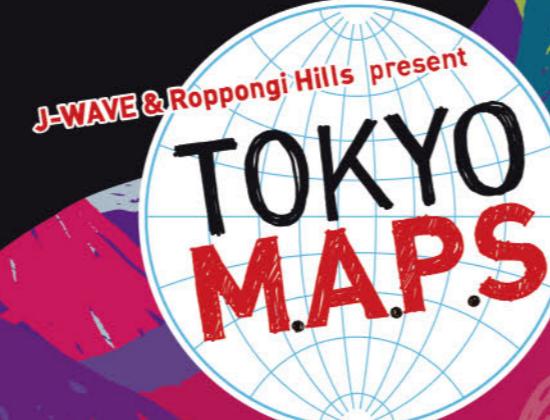
2010.5.3^{MON}-4^{TUE}
@ Roppongi Hills Arena

TOKYO M.A.P.S とは…

六本木ヒルズとJ-WAVEがコラボレーションして毎年ゴールデンウィークに開催するフリーライブイベントです。開催毎に、豊かな世界観を持ったアーティストをプログラム・オーガナイザーとして迎え、音楽、アート、パフォーマンスなど様々な表現を発信していきます。3回目の開催となる本年は、菊地成孔が六本木ヒルズをキャンバスに「東京の地図」を描き出します。

CONCEPT

その地図には道も場所も記されていません。
しかも一枚ではありません。紙ですらありません。
その地図はMusic. Art. Performance.の地図です。
そのM.A.Pが複数(S)集まり、Showcaseの中で
SpecialなStreamとなってSessionするSeries。
それがTOKYO M.A.P.Sです。
「手に入れろ!『感動』の地図を!」



NARUYOSHI KIKUCHI EDITION

世界同時不況時に響かせたいジャズ+α



菊地成孔 PROFILE

1963年6月14日、千葉県出身。音楽家、文筆家、音楽講師。アバンギャルド・ジャズからクラブシーンを熱狂させるダンス・ミュージックまでをカバーする鬼才。'84年プロデビュー後、山下洋輔グループなどを経て、「データコース・ペントagon・ロイヤルガーデン」「スパンクハッピー」といったプロジェクトを立ち上げるも、'04年にジャズ回帰宣言をし、ソロ・アルバム「デギュスタシオン・ア・ジャズ」、「南米のエリサベス・ティラー」を発表。'06年7月にUAX菊地成孔名義で発表したスタンダード・ジャズ・アルバム「cure jazz」が大ヒット。'07年12月には初のBunkamuraオーチャードホール公演を成功させ、'08年からは菊地成孔ダブルセクシート、菊地成孔とペペ・トルメント・アスカラールで活動中。最新アルバムは菊地成孔とペペ・トルメント・アスカラール「ニューヨーク・ヘルソニック・バレエ」。音楽講師としては私塾「ヘンギン音楽大学」を主宰するほか、映画美学校でも教鞭を執り、さらに、「05年まで東京大学教養学部の非常勤講師を務め、「06年、国立音楽大学非常勤講師、「07年、東京藝術大学講師、「08年、慶應義塾大学、「09年は再び東京藝術大学で講師を勤めた。また、異常的な博識と饒舌な文體で、エッセイストとしても高い評価を受け、音楽雑誌、ファッション雑誌、文芸誌など、多彩な媒体で活躍中。

5.3 MON

矢野沙織
12:00~

J.A.M
14:00~

quasimode
16:00~

菊地成孔クインテット・ライブ・ダブ
18:00~

naomi & goro + 菊地成孔
19:00~

5.4 TUE

口口口(クチロロ)
12:00~

坪口昌恭 14:00~
BEATSICK.JP 14:30~

山下洋輔 イントロデューシング 寺久保エレナ
16:00~

カヒミ・カリイ + 菊地成孔
19:00~

TIME
TABLE

5
·
3
(MON)



矢野沙織

'86年東京都出身。9歳の時にアルト・サックスを始める。チャーリー・バーカーに衝撃を受けジャズに傾倒。14歳でビリー・ホリディの自叙伝に感銘し、自らジャズクラブに出演交渉を行いライブ活動をスタート。ジャズの名門SAVOYレーベル日本人アーティスト第2弾として'03年、16歳でセンセーション的なデビューを飾る。モダン・ジャズの起源である「ビ・バップ」に真摯に取り組み、ニューヨークでもライブを重ね、着実に評価を高める。テレビ朝日「報道ステーション」のテーマ曲で、世に新世代ジャズの到来を知らしめた。



J.A.M

国内のみならず海外でも高い人気を博しているSOIL&PIMP SESSIONSのピアノの丈青、ベースの秋田ゴードマン、ドラムのみどりんの3人によるピアノトリオ。J.A.M.グループ名はそれぞれの頭文字をとって名づけられた。ジャズをジャズとして真正面から向き合うスタイルとピアノトリオというシンプルな編成は、SOILとは異なったサウンド・スケープを描き出す。「08年3月、1stアルバム『Just A Maestro』をリリース、「10年5月には2ndアルバム『Just Another Mind』をリリースする。



quasimode(クオシモード)

平戸祐介(Pf, Key)、松岡"matzz"高廣(Perc.)、須長和広(Bass)、今泉総之輔(Drums)、クラブ・ジャズ・シーンにおいて日本を代表するバンドの一つとしてワールドワイドにその名を知らしめたクオシモード。小松正人(Slowly)をProducerに迎え制作されたデモがクラブ・ジャズシーンの要人達の耳に止まりワウウェーブの最重量級レーベル"Raw Fusion"より、「06年4月にアルバム先行という形で12インチが全世界でリリースされ、トップDJ達によりヒーバードイ世界規模で大きな話題を呼ぶ。実際に驚異のペースで作品を産み出し、今後ますます活躍が期待される大注目のジャズバンド。



菊地成孔クインテット・ライブ・ダブ

菊地成孔がジャズ宣言をした後組織した、ボリBPMというコンセプトと、演奏と同時に発生するライブダブ処理をするエンジニアを加えるというアイデアに基づく音響ジャズユニット。その後のダブセクスティット、ペタルメントアスカラールへと発展していく菊地ミュージックのエッセンスを示す。



naomi & goro

透き通るよう美しい天使の歌声をもつ布施尚美と、暖かく繊細な音色とハーモニーで語りかけるギターの名手伊藤ゴロー(MOOSE HILL)によるボサノヴァ・デュオ。世界的に見ても、今、最もジョアン・ジルベルト系のサウンドと言われるだけあり、ジョアン・ジルベルト・マーチを直撃した、ギターの弾き語りというシンプルなスタイルで、コードの響き、言葉の響きを大切に、カバー曲からオリジナル曲までを演奏。「09年ブラジル・リオデジャネイロ録音のアルバムを2枚リリース。



BEATSICK.JP

'06年1月、渋谷のストリートからbeatbox crewとしてのキャリアをスタートさせる。HIRONAの驚異的なヒューマンターンテーブルDJスムフラウ、KAZの高精細かつスタイルなビートメイクで、HIPHOPやR&Bを自在にmixし、人間のみで作り出すサウンドは、唯一無二のパワーマンス。'08年4月、ロンドン開催のビートボックス世界大会ファイナルデジタルへの出演。帰国後はNHK総合「テレ遊びハッカー!」に特集されるなど、まさに「beatがsickな日本代表」と歩みを進める。



口口口(クチロロ)

三浦康嗣を中心にブレイキーピーツ・ユニットとして結成、「06年commonsより「GOLDEN KING」でメジャーデビュー。Cubismo Grafico Fiveの村田シゲ、日本のHIP HOPのオリジネーターでもあるいとうせいこうが加入し、フィールドレコーディング・オーケストラと銘打たれた6th album「everyday is a symphony」をリリース。いち早くtwitterでUSTREAMを駆使し、伊藤ガビによるメディアアート的演出、演劇的要素を取り入れたパフォーマンスなど単独公演は話題となり、初の映像作品「クチロロのファンダーランド2」をリリース。DISC2にはパソコン上で8つのカメラによる映像を自由にスイッチングしながら再生できる画期的なアプリケーションデータも入っている。



坪口昌恭

ジャズとエレクトロニクスを共存させるピアニスト&シンセリスト。多重のエレクトロ・ジャズユニット「東京ザヴィーナル・バッハ」を主宰するほか、菊地成孔との共演歴は20年を超える。「08年に若手を集め始動した「坪口昌恭Quartet」を軸に、「09年からはPiano Soloや小編成でのセッションも活発化。ビバップ、ラテン、ファンク、エレクトロの要素が絶妙に絡んだ多彩な魅力をアピール。尚美学園大学/大学院ジャズ＆コンテンポラリー分野准教授。今回、モジュラー・バッヂ・シンセサイザーを駆使してのソロ・パフォーマンスを披露する。



山下洋輔 イントロデューシング 寺久保エレナ + カヒミ・カリイ

山下洋輔: '69年、山下洋輔トリオを結成。フリー・フォームのエネルギー満ちた演奏でジャズ界に大きな衝撃を与える。国内外の一派ジャズ・アーティストとはともとより、和太鼓やオーケストラなど異ジャンルとも意欲的に共演する。「09年7月には、歴代メンバー総出演の「山下洋輔トリオ結成40周年記念コンサート」を開く。「10年1月、恒例の東京オペラシティ「ニューオーディション」では、スヌニラフ・ブーニンを招き大きな話題を呼ぶ。「03年紫綬褒章受章者。寺久保エレナ: '92年札幌生まれ。9歳でサックスと出会い、渡辺貞夫、山下洋輔、日野皓正、佐山雅弘など有名ミュージシャンとの共演多数。高校2年生になった今春、ニューヨークでケニー・バロン等とレコーディングを行ない、6月23日CDデビュー決定。



カヒミ・カリイ

'91年デビュー。国内外で数々の作品を発表。「98年、「99年に全米ツアーも行う。台湾・香港でもベストアルバムが発売。FMのバーソナリティー、連載コラムや映画コメント執筆、字幕監修なども手掛けている。「04年から菊地成孔とのアルバムやライブにも参加し、「05年にはソロで「アーティスト」に登場。'06年にアルバム「UNKL」をリリースし全国各所でのツアーやフェスに出演。「07年5月DVDを「08年にはビクター80周年記念コンピCD「Music For Nipper」をプロデュース。今年はママ&ベビースキンケア商品をプロデュースし春に発売予定。6月にはニュー・アルバム「It's Here」もリリースされる。

※出演者および出演時間は変更になる場合がございます。※荒天時はプログラム変更および中止になる場合がございます。